

岩手県立病院等の経営計画〔2019-2024〕

持続可能な経営基盤の確立を図りながら、県民に良質な医療を持続的に提供していきます。

- ◆ 県立病院間のネットワークを活用した円滑な医療提供体制の構築や、他の医療機関及び介護施設等との役割分担と連携を一層進めます
- ◆ 医師・看護師等の育成・確保を進めるとともに、働きやすい職場環境を整備し、良質な医療を持続的に提供します
- ◆ 経営を取り巻く環境の変化に迅速に対応し、持続可能な経営基盤の確立を目指します

○ 令和2年度の事業運営

「岩手県立病院等の経営計画〔2019-2024〕」に掲げる5つの基本方向ごとの重点取組事項を着実に実行していくとともに、経営改善に向けて全職員一丸となって取組を進めます。

- 1 県立病院間・他の医療機関及び介護施設等を含めた役割分担と地域連携の推進
  - ・ 圏域内への効率的な職員の配置、支援体制の構築等による一体的な運営
  - ・ 新公立病院改革ガイドライン、岩手県地域医療構想、医療政策の動向や地域医療ニーズを踏まえた病床の機能、病床数・病棟数の見直し
  - ・ 地域包括ケアシステム構築への参画
  - ・ 地域における役割分担と医療・介護・福祉等関係機関との連携強化 等
- 2 良質な医療を提供できる環境の整備
  - ・ リハビリテーション提供体制の強化
  - ・ 多職種間の協働等によるチーム医療の推進
  - ・ 医療安全対策の推進・強化
  - ・ 劣化調査結果を踏まえた病院の施設・設備の計画的な改修の推進 等
- 3 医師不足解消に向けた医師の育成・確保と医師の負担軽減に向けた取組の推進
  - ・ 県立病院専門研修プログラムや指導体制の充実による専攻医の育成
  - ・ 奨学金養成医師の効果的な配置
  - ・ タスク・シフティング、タスク・シェアリング等による医師の業務負担軽減
  - ・ 医師の働き方改革を踏まえた対応策の検討 等
- 4 職員の資質向上と患者数等の動向や新規・上位施設基準の算定を踏まえた人員の適正配置
  - ・ 看護、薬剤部門等各職域の専門資格職員の計画的な養成
  - ・ 病児保育の導入など働きやすい職場環境の整備
  - ・ ワークライフバランスを考慮した勤務環境の整備
  - ・ RPAなどICTの活用による業務の見直しと職員の意識改革推進 等
- 5 持続可能な経営基盤の確立
  - ・ 令和2年度(2020年度)当初予算に基づいた各病院の経営目標及び収支計画の設定、定期的な検証による経営計画に掲げる目標の達成
  - ・ 新規・上位施設基準の早期算定に向けた院内体制等の整備 等

○ 令和2年度県立病院等事業会計予算の概要

(1) 収益的収支

(単位：千円)

区 分	令和2年度当初	令和元年度当初	比 較
収 益	114,091,702	110,306,357	3,785,345
費 用	112,568,170	108,784,913	3,783,257
差引損益	1,523,532	1,521,444	2,088
経常損益	1,523,532	1,521,444	2,088

(2) 資本的収支

(単位：千円)

区 分	令和2年度当初	令和元年度当初	比 較
収 入	14,740,833	16,838,266	△2,097,433
支 出	22,138,467	24,890,685	△2,752,218
(1)建設改良費	7,874,657	9,713,285	△1,838,628
(2)企業債償還金	12,857,010	13,795,800	△938,790
(3)他会計からの長期借入金償還金	1,000,000	1,000,000	0
(4)投資	406,800	381,600	25,200
差 引(内部留保資金充当)	7,397,634	8,052,419	△654,785

令和2年度県立病院等事業会計当初予算及び令和元年度当初予算比較

(単位:千円)

	令和2年度当初予算			令和元年度当初予算			比較増減	
	金額 A	構成比 %	費用 収益	金額 B	構成比 %	費用 収益	増減率 A-B=C C/B %	
1 医業収益	96,102,439	84.2	—	92,671,947	84.0	—	3,430,492	3.7
(1) 入院収益	61,399,161	53.8	—	59,187,220	53.7	—	2,211,941	3.7
(2) 外来収益	28,474,849	25.0	—	27,022,296	24.5	—	1,452,553	5.4
小計	89,874,010	78.8	—	86,209,516	78.2	—	3,664,494	4.3
(3) その他医業収益	6,228,429	5.5	—	6,462,431	5.9	—	△ 234,002	△ 3.6
2 医業外収益	17,989,263	15.8	—	17,634,410	16.0	—	354,853	2.0
3 特別利益	0	0.0	—	0	0.0	—	0	#DIV/0!
収益合計	114,091,702	100.0	—	110,306,357	100.0	—	3,785,345	3.4
(うち一般会計負担金)	15,664,147	13.7	(—)	16,059,565	14.6	(—)	△ 395,418	△ 2.5
1 医業費用	109,955,353	97.7	114.4	106,069,157	97.5	114.5	3,886,196	3.7
(1) 給与費	57,956,248	51.5	60.3	56,873,122	52.3	61.4	1,083,126	1.9
(2) 材料費	27,784,053	24.7	28.9	25,981,041	23.9	28.0	1,803,012	6.9
(3) 経費	15,906,056	14.1	16.6	15,652,154	14.4	16.9	253,902	1.6
(4) 交際費	1,000	0.0	0.0	1,000	0.0	0.0	0	0.0
(5) 減価償却費	7,510,906	6.7	7.8	6,773,558	6.2	7.3	737,348	10.9
(6) 資産減耗費	155,246	0.1	0.2	168,249	0.2	0.2	△ 13,003	△ 7.7
(7) 研究研修費	641,844	0.6	0.7	620,033	0.6	0.7	21,811	3.5
2 医業外費用	2,512,817	2.2	2.6	2,615,756	2.4	2.8	△ 102,939	△ 3.9
(うち支払利息)	1,441,280	1.3	1.5	1,609,476	1.5	1.7	△ 168,196	△ 10.5
3 特別損失	0	0.0	—	0	0.0	—	0	#DIV/0!
4 予備費	100,000	0.1	—	100,000	0.1	—	0	0.0
費用合計	112,568,170	100.0	98.7	108,784,913	100.0	98.6	3,783,257	3.5
差引損益	1,523,532	—	—	1,521,444	—	—	2,088	0.1
前年度末繰越欠損金	48,504,091	—	—	47,835,217	—	—	668,874	1.4
当年度末累積欠損金	46,980,559	—	—	46,313,773	—	—	666,786	1.4

【経常損益】 (1,523,532)

(1,521,444) (2,088)

(注) 診療実日数 (単位:日)

区分	入院	外来
2年度	365	243
元年度	366	240

5. 病床利用率(稼働病床数) (単位:床、%)

区分	病床数	2当初予算	元当初予算	差
一般	3,796	78.0	78.1	△ 0.1
療養	88	73.8	76.9	△ 3.1
結核	69	6.9	5.0	1.9
小計	3,953	76.7	76.5	0.2
精神	557	65.3	65.0	0.3
感染	22	0.0	0.0	0.0
合計	4,532	75.3	75.1	0.2

1. 患者数 (単位:人)

区分	入院	外来	計
2年度当初予算a	1,242,081	1,832,151	3,074,232
元年度当初予算b	1,237,654	1,846,613	3,084,267
増 a-b	4,427	△ 14,462	△ 10,035
減 (a-b)/b	0.4	△ 0.8	△ 0.3

2. 一日平均患者数 (単位:人)

区分	入院	外来
2年度当初予算a	3,403	7,540
元年度当初予算b	3,382	7,694
増 a-b	21	△ 154
減 (a-b)/b	0.6	△ 2.0

3. 患者一人一日当平均収益 (単位:円)

区分	入院	外来
2年度当初予算a	49,432	15,542
元年度当初予算b	47,822	14,633
増 a-b	1,610	909
減 (a-b)/b	3.3	5.8

4. 病床利用率(許可病床数) (単位:床、%)

区分	2病床数	2当初予算	元当初予算	差
一般	3,946	74.4	73.9	0.5
療養	88	73.8	76.9	△ 3.1
結核	84	5.7	5.0	0.7
小計	4,118	73.0	72.6	0.4
精神	611	59.5	59.7	△ 0.2
感染	22	0.0	0.0	0.0
合計	4,751	71.3	71.0	0.3

資本収支

(単位:百万円、%)

内 容	2 年 度 当初予算 (A)	元 年 度 当初予算 (B)	比較増減		2 年度の主な事業内容
			2 当 対 元 当 (C=A-B)	増 減 率 (B/C)	
1 資本的支出					
(1) 土地費	50	50	0	0.0	
(2) 建物費	1,867	3,582	△1,715	△47.9	中央病院救急センター等改修工事 457 胆沢病院医局改修工事 32 附帯設備改修工事及び建物一般整備 他 1,294
(3) 医療器械費	4,677	4,371	306	7.0	
(4) 備品費	542	809	△267	△33.0	
(5) リース資産費	33	32	1	3.1	
(6) ソフトウェア費	705	868	△163	△18.8	勤務管理システム 99 県立病院間情報共有システム
建設改良費 計	7,874	9,712	△1,838	△18.9	
(7) 企業債償還金	12,857	13,796	△939	△6.8	
(8) 他会計借入金償還金	1,000	1,000	0	0.0	
(9) 投資	407	382	25	6.5	
支 出 合 計 (a)	22,138	24,890	△2,752	△11.1	
2 資本的収入					
(1) 企業債	6,980	8,689	△1,709	△19.7	建物分：1,710、医療器械分：4,609、システム整備分：661
(2) 一般会計繰入金	7,092	7,510	△418	△5.6	
(3) 補助金	664	639	25	3.9	
(4) その他	0	0	0	0.0	
収 入 合 計 (b)	14,736	16,838	△2,102	△12.5	
差 引 (a-b)	7,402	8,052	△650	△8.1	内部留保資金を充当

## 令和2年度 当初予算案について

### 1 予算案の考え方

令和2年度は経営計画の2年目であり、計画に定める持続可能な経営基盤の確立のため経営改善に取り組むとともに、良質な医療を提供し続けるため、職員の負担軽減や適正配置に取り組みながら人材育成の推進に注力していくこととする。

また、設備投資については、現在の整備計画を前提としながら、企業債発行額やキャッシュフローの見通しなどを踏まえ投資規模の調整を行う。

### 2 各課トピック

#### 【経営管理課】

- ・ 病院附属設備改修実施に向け、建物劣化調査の結果を踏まえながら、大規模改修工事等に着手
- ・ 医療局例規集のデータベース化
- ・ 中央病院救急センター等改修工事、胆沢病院医局改修工事等の実施

#### 【職員課】

- ・ 業務改善を推進するためのコンサルティング業務委託（タスク・シフティング、タスク・シェアリングによる業務の平準化、ICT等を活用した業務の効率化による働き方改革の推進による職員満足度の向上及び離職防止）
- ・ 患者数や収支の状況を勘案し、職員の適正配置を実施
- ・ 病児保育の導入
- ・ 所管業務の洗い出しによる事務事業の見直しや、不要不急の業務の廃止、職員の意識改革などによる超過勤務の10%縮減
- ・ 会計年度任用職員制度への対応

#### 【医事企画課】

- ・ 適正な人員配置による診療行為の増などを踏まえた診療報酬の算定
- ・ 患者のQOLに配慮した各種指導およびリハビリの充実と在院日数の適正化
- ・ 休暇や超過勤務、出勤簿等を一体的かつ効率的に管理できる新たな勤務管理システムの導入
- ・ 診療情報共有システム連携強化
- ・ マイナンバーカード保険証利用対応

## 【業務支援課】

- ・ クリニカルパスの推進
- ・ 医療の質向上のため、ハイブリッド手術システム、リニアック等の高度医療機器等の効率的な整備
- ・ 新調理方式導入拡大（大船渡、久慈）

## 【医師支援推進室】

- ・ 医師不足解消に向けた医師確保の取組の強化
- ・ 医師の業務負担軽減に資する医療クラークの増員及び医療クラークの処遇改善
- ・ 専攻医の受入を拡大するため、指導医の資格取得の促進と指導業務を継続的な支援への対応（業務手当の創設、指導医資格取得等への支援）
- ・ 医療局奨学資金のうち新たに産婦人科貸付枠として拡充